

次世代パーソナルモビリティの実証実験を行います！ ～新たな技術を活用した自律走行精度の向上を検証～

千葉市では、歩道空間の走行を中心としたパーソナルモビリティと先端的なIoT技術等とを組み合わせた次世代モビリティサービスの社会実装に向けた事業化を一層加速させるため、「千葉市パーソナルモビリティ社会実装サポート事業」を創設し、民間事業者によるサービス実証や技術実証を支援しています。

このたび、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社が本事業を活用し、稲毛海浜公園とイオンモール幕張新都心において、次世代パーソナルモビリティの実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 実証実験概要

(1) 実施事業者

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

(2) 実施日時、実施場所

場 所	日 時
稲毛海浜公園 (美浜区高浜 7-2)	令和 5 年 2 月 4 日 (土) 10:00～18:00 (予定)
イオンモール幕張新都心 (美浜区豊砂 1-1)	令和 5 年 2 月 8 日 (水)、9 日 (木) 10:00～18:00 (予定)

(3) 車両

次世代パーソナルモビリティ「^{アイリー}ILY-Ai^{エーアイ}」
荷物運搬モビリティ「^{クランベリ}Cranberry改^{ベリー}」



ILY-Ai



Cranberry改

(4) 実証内容

ア 稲毛海浜公園

初めて実証実験を実施する稲毛海浜公園では、技術実証として、^{ライダー}LIDAR (レーザー光を用いて対象物との距離の計測等を行う測定技術) による測定だけでなく、「docomo IoT高精度GNSS位置情報サービス」を活用し、自律走行精度の向上を確認します。また、サービス実証として、グランピング施設の利用者や運営者に「Cranberry改」による自律走行の荷物運搬を体験いただき、実用性を確認します。

イ イオンモール幕張新都心

イオンモール幕張新都心では屋内での自律走行や無人対応によるシェアリングサービスの実証を実施してきましたが、本年度では、技術実証として、ショッピングモールの周辺道路（公道）から店舗内までの屋内外の導線をシームレスに往来することを想定した自律走行を実施します。さらに、測位衛星システムGNSSを活用した自己位置推定が困難な屋内走行では、LiDARによる自己位置推定に切り替えるなど、屋内外を意識しない自律走行の実現に向けて検証します。

また、サービス実証として、モニターにご協力いただき、ショッピングモール内の「ILY-Ai」の乗り捨て（乗り捨て後、無人で起点ポートへ移動）を中心とした実用性を確認します。

(5) 利用料金

本実証実験で提供するサービスはすべて無料で利用できます。

2 取材

(1) 取材の申し込み

取材を希望される方は、別紙「取材希望回答用紙」に出席者の氏名等必要事項を明記の上、2月3日（金）12：00までに国家戦略特区推進課へメールでお申し込みください。

【メール】tokku.POF@city.chiba.lg.jp

(2) その他

雨天等悪天候による実施中止の場合、取材希望者へ個別にご連絡します。

<参考>千葉市パーソナルモビリティ社会実装サポート事業

(1) 概要

都市の回遊性の向上やラストワンマイルの課題解決、街の賑わいの創出等を目的として、歩道空間の走行を中心としたパーソナルモビリティと先端的なIoT技術等とを組み合わせた新たなモビリティサービスの社会実装に向けた事業化を一層加速させるため、本市において、「地域住民、関係団体及び関係省庁等のステークホルダーとの協議・調整、実証に係る各種相談支援」、「国家戦略特区を活用した規制緩和」、「実証実験への財政支援」などを実施することにより、民間事業者によるサービス実証や技術実証を支援するもの。

(2) 実績

千葉市パーソナルモビリティ社会実装サポート事業として、令和元年度はイオンモール幕張新都心（屋内）での自律走行や乗り捨てを想定した無人回収、令和2年度は海浜幕張駅周辺でのシェアリングサービス、令和3年度は海浜幕張駅前ペDESTリアンデッキ上での自律走行等を実施。